

地域の用水を支える「緑のダム」

① 7月7日(土) わくわく探訪(土地改良施設巡り)

農業水利施設の役割と用水のはたらきを理解してもらい、農業農村に接する機会の少ない児童とその保護者に理解を深めてもらおうと、あきた食料・環境・ふるさとを考える地球人会議が主催しています。

今回は、秋田市、大仙市の小学校4年生～6年生とその保護者30名が関田円型分水工を見学しました。円型分水工の役割と小水力発電設備について説明しました。子供たちは水から発電された電気に興味津々の様子でした。

② 7月8日(日) '12七滝「水の森」植樹(水環境学習会)

この植樹は美郷町が主催し、七滝水源涵養保安林にて毎年行っています。当初、町内児童4年生を対象とし、6月20日を予定していましたが、台風の影響で延期となりました。その後参加者を募った所、美郷町民140名が集まりました。植樹前、森林学習会を行いました。森林の働きと水の関わりを説明し、参加者に植樹の重要性を再認識してもらおう大変良い機会になりました。

③ 7月31日(火) 水環境学習会(土地改良施設巡り)

農地水保全会、町内小学児童40名が参加し、土地改良施設見学会を行いました。水利施設と土地改良区の役割を知ってもらおうと毎年行っています。自作パンフレットを作り、水はどのように作られ、流れ出てくるのかを説明しました。見学中、一生懸命メモを取っていました。

また、炎天下の中の学習会だった為、暑さに耐えかね関田円型分水工の中に入る子供もいました。水に触れることで改めて水の大切さを感じてもらおう機会になりました。



活動体制	
実施主体	水土里ネット七滝(秋田県七滝土地改良区)
後援・連携	美郷町、美郷町教育委員会、秋田県仙北地域振興局
実施期間	平成24年7月7日～31日
参加者	H24. 7. 7 (土) 秋田市・大仙市小学校高学年児童、保護者30名 H24. 7. 8 (日) 美郷町民140名 H24. 7. 31 (火) 善元寺地域保全会20名、千畑南小学校・千屋小学校・仙南東小学校20名 延べ 210名
報道関連	秋田県HP、水土里ネット秋田HP、美郷町HP、水土里ネット七滝HP
活動実施年数	5年目(H20年～)
連絡先	〒019-1404 仙北郡美郷町六郷字米町29 秋田県七滝土地改良区 TEL. 0187-84-2137
その他	さなえ賞(H22)

【活動内容に対する自己評価】 水土里ネット七滝(藤岡 義博)

○活動の目標及び達成率	目標 森林と水の大切さと地域農業の関わりについて学ぶ 達成率 90%				
○活動に対する評価	・子供からお年寄りまで参加してもらったことは大きな成果である。				
判定基準	自己判定(達成度)		判定基準	自己判定(達成度)	
	判定	評価等		判定	評価等
1. 取組体制について			④運動のPR	A	改良区HPや広報等でPRを行った
①役職員・組合員の参加	A	役職員が一体となり運動に取り組んだ	4. 運動の成果		
②後継者育成の工夫	A	小学児童を対象とし運動を行っている	①他組織との連携構築	A	県・町の協力で運動が周知された
2. 活動の意欲性について			②地域住民等の理解	A	農業用施設の理解が増した
①基本理念の設定	B	運動が確立してきている	③施設管理・地域資源の保全強化	B	水利施設の管理方法や土地改良区の役割を理解してもらおう大変良い機会になった
②地域の歴史等の伝承	B	学校の授業にも取り入れられてきた	④運動の地域づくりへの関わり	A	地域との関わりを大いに深める事が出来た
③運動の先駆性	A	子供を通じて地元住民の参加を増やす事が出来た	⑤農地・水・環境保全向上対策への貢献	B	啓発用品の調達や写真撮影等を協力している
3. 運動の継続性・発展性			⑥地域農業振興への貢献	B	人材育成だけではなく農業生産等にも貢献したい
①運動の継続性	A	運動が定着している	5. 今後の課題等について		
②運動の発展・拡大	A	世代を越えた人の広がりになっている			
③運動の計画性	A	事前準備・打合せをしっかりと行った			

(自己判定) A: 大いに達成している B: 達成している C: 少しは達成している D: 達成していない E: その他